

町内会事務所は
祝日を除く月曜日～
金曜日の 10 時から
16 時まで開いていま
す

町内会だより

新年号

玉川学園町内会
町田市玉川学園 2-19-5
Tel/Fax : 042-725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
http://www.tamagawagakuen-chonaikai.net

地域住民の交流、世代間交流による支え合いのまちをつづけて

— 会長 鎮目義雄 —

穏やかな気候のなか、ご家族の皆様、お健やかな新年をお迎えでしょうか。玉川学園、東玉川学園のまちは、伝統的に、ご近所のおつきあい、文化サークル、交遊会の盛んな、温かく住みやすいまちとして、他の地域からも高く評価されてきましたが、1960年代の急速な人口増加のあと、2000年代に成熟期に入り、世代交代、少子高齢化が進んで、戸数は増加しているものの、人口は横ばいから減少傾向に転じてきています。

地域の小学校の児童数は横ばいですが、住民の高齢者（65歳以上）比率は25%を超え、そのうち、高齢者のみの家族、おひとり住まいの方は、高齢者人口の50%を超えていると言われています。若い世代も、夫婦ともお仕事の家庭が多く、児童、乳幼児のお世話が課題となっています。

清潔で、みどりの景観に富み、安心・安全なまちを維持し、ひとのつながりと支え合いによる温かいまちを続けるために、町内会活動は、防犯防災部、環境部、文化部、高齢者部、成人部、青少年部などが、年間を通じて活動をつづけるほか、地区の課題を8地区に分かれて対応し、独特の活動をすすめております。

高齢でも地域活動や交流団体活動を積極的に支えておられる方々、お仕事の合間に地域貢献活動をすすめられている若年層の方々、世代交代のすすむ今日、支え、支えられる安心・安全のまちを維持できるよう高齢者も若年者も互いに手を携えて交流をはかることを進められたらと思います。今年も、ご理解のうえ、ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

「玉南連・餅つき大会」は大盛況でした

12月21日、「玉南連」主催の「餅つき大会」が町田第五小学校校庭で行われました。「玉南連」とは「玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会」（玉川学園地区町内会自治会連合会の6団体と南大谷地区町内会自治会連合会の5団体とが相互に協力して地域の諸問題の解決を目指そうと、昨年4月に結成された団体）の略称です。従来、玉川学園地区町内会自治会連合会（略称「玉連」）が秋に「健康ウォーキング」を主催してきましたが、「玉連」が「玉南連」に拡大したのに伴ない、「健康ウォーキング」参加者数の大幅な増加が見込まれ、参加者の安全確保が困難になることなどが予想されるところから、秋の「健康ウォーキング」は玉川学園町内会のみでの単独事業となりました。今回行われた「餅つき大会」は、従来玉連が主催していた秋の「健康ウォーキング」に代わるもので、玉南連としての最初の共同行事になります。

当日は天候にも恵まれて、予想を上回る大勢の子どもたちが集まり、当初用意していた紙の小皿200枚では足りずに、急遽200枚を追加しなければならぬほどの大盛況でした。

餅つきを担当された城南信用金庫の職員の皆様、子どもたちに「餅つき大会」への参加を呼びかけて下さった町田第五小学校校長・樋口明先生、そして各部署でお手伝いいただいた関係役員の皆様に厚く御礼申し上げます



陽だまりで餅をほおばる子どもたち



上手に餅つきができました

大きな声でメリー・クリスマス！

— 青少年部 —

町内会青少年部主催の「クリスマス・こどものつどい」が、12月22日に、さくらんぼホールで開かれました。

今年あったか座公演「光のファンタジー」のテーマは「いじめ。」子どもたちは、最初、神妙な面持ちで舞台に見入っていましたが、次第に座員のかげ声に応じて手足を動かすようになり、お手玉、踊り、そして大きな声を出しての合唱と、後半からは全員が舞台と一体になって演目「いれでけろ」を楽しみました。そして、最後はサンタクロースの登場。サンタクロースと共に、精一杯の声で「メリー・クリスマス」と叫んで舞台の幕が下り、町内会が用意したお菓子をもらって家路につきました。



写真上・サンタクロースの登場
写真右上・舞台に見入る子どもたち
写真右下・お菓子をもらい、サンタクロースと記念撮影

当日の来場者は、大人と子どもを合わせて約100名。子どもの数が一昨年よりもやや少ないのが気になりました。

今年のクリスマス会には、もっと大勢の子どもたちが来場し、楽しいひとときを過ごしてくれることを願っています。



資源回収の報告 —環境部—

12月の回収は120.0トでした。資源ゴミは当日朝の9時までに出してください。（古紙・段ボールは必ず紙紐で括ってください）

問合せは町内会事務所または

大興資源 045-929-4813まで

* 不正回収を目撃した時は、日時、場所、回収車の車両番号などを町内会事務所までお知らせください。

謹賀新年

年の初めにあたり
皆様のご健勝とご多幸を
お祈りいたします。



本年も地域の明るいニュースをタイムリーに、お知らせしていければと思っています。

広報部一同

1月定例幹事会(1/7)報告

— 総務部 —

下記の審議・協議事項が承認されました

1. 経理内規の改正について
2. 「地区活動協議会への呼びかけ」について
3. 「地区社協への支援」について
4. 椅子に関する既議案書の修正について
5. 資源物回収奨励金の使用方法について
6. 各部事業報告、事業計画の提出について
7. 消防団の新年会について

*一部ずつお取りください。

裏面にも各種の案内・お知らせがあります。

さくら保育園・中央幼稚園・ころころ児童館 合同避難訓練の支援について

防犯防災部長 中村隆一

12月6日（金）、昨年同様に万一の災害時から子供達（幼児）を守るため、「中央幼稚園」と「さくら保育園」および「ころころ児童館」合同による避難訓練を実施いたしました。

当日午前10時頃に震度6の地震が発生し、家屋の被害がある模様との想定で、園児および職員が一時的にころころ児童館裏のこども広場に避難をいたしました。同10時15分頃ころころ児童館館長より、携帯無線機により町内会に救援の要請がありました。そこで、直ちに町内会役員・第一ないし第八地区の自主防災隊長・近隣のご父兄および消防団（第一分団第五部）や駐在所（玉川学園・玉林台）へ応援の要請をいたしました。

こども広場には、園児達（0～6才）156名、同職員30名そして町内会関係者および近隣のご父兄や消防団・警察関係等20名、総勢200名を超える避難者と救援者が集結しました。早速、園児達を避難所（町五小学校）へ誘導をすべく、園児達が歩道からはみ出さないよう、救援者は歩道と車道の境界に立ち、警戒をいたしました。園児達は、元気に二列縦隊で二人互いに手を繋ぎ合いながら、誠に秩序良く、職員の指導を守り、ただひたすらに列を乱すことなく、一生懸命歩いてゴールを目指しました。また、園児達の足の速いこと……昨年は、こども広場から避難所までの先頭集団の所要時間は約15分でしたが、今年はわずか10分で到達しました。大人も顔負けでした。園児達はとても偉かった！（私達大人も園児達のように、団体行動の中での、規律正しく真っすぐに前を向いて生きて行く姿勢を改めて学ばされました。）

訓練終了後の帰り道では、さくらんぼホールに駐車している消防団の消防車と駐在所のミニパトカーを見学しましたが、訓練時の緊張感から解放され、園児達は大喜びでした。

お別れの際は、園児達の拍手と「ありがとうございました！」とのお礼を受け、手を振ってお見送りをさせていただきました。感動いたしました！！



写真左・こども広場に避難
写真上・列を乱さず避難所へ

しかし、平常時の訓練では多くの救援者に協力をしていただきましたが、大きな震災ともなると、誰でも自分や家庭の安全が第一であり、助けてあげたくてもその現場に行くことも出来ないことがあり、訓練のように大勢の人々に助けていただけるかは分かりません。やはり、頼りは「遠くの親戚より、近くの他人」です。

そこで、当訓練地域周辺の近隣の皆様にお願ひがあります。当町内会には特に高齢者やお体の不自由な方々が大量にいらっしゃいますが、少子化の時代とはいえ小さな子供さんも数多くおられます。ご自分や家庭の安全を確認されましたら、ぜひ子供達の安全につきましても関心をお持ちいただき、お見守りいただきたいと思います。

これからも、小さな子供さん達を見守りするため、当町内会は出来る限りのお手伝いをさせていただきます。以上

第4地区の活動

地区長 浅見 孝志

平成25年度の地区会は、6月、9月、11月の3回（本年度は2月にも開催予定）開催しました。定例的には、町内会の行事報告及び諸行事に積極的参加を促すこと、防犯、環境パトロール（毎月第3金曜日）の実施や、駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン（春、秋）、総合防災訓練への参加協力をお願いしました。このほかに新年度入学児童に「お祝い金」、会員及び同居家族の死去の際には弔慰金をさしあげました。

73歳以上の高齢者には「敬老会」への出席をおすすめしました。残念ながら敬老会は台風のため中止となりましたが、29名のお年寄りへ戸別に、お弁当とお土産をお配りして感謝されました。

地区の特記事項としては、支部内班の編成を桜ヶ丘D支部は5班から4班へ、玉林台支部も5班から4班に編成替えを行いました。町内会会員をほぼ同数程度に再編成することにより、会員数の平均化が図られて諸行事への参加協力体制の強化が図られ、近隣関係の緊密化、絆の醸成ができることによって見守り態勢の強化が図れることに効果が大きいと思われます。

地区の独自の行事としては、8/16に宅配水の（株）ナックの「クリクラ中央研究所工場見学」を行いました。クリクラの宅配水は世界屈指の独自殺菌性を保ち最も安全な飲料水であることを誇りとしています。飲料水工場で一般公開され見学できるところは同社のみ、とのことでした。

併せて同社関連の西山美術館の見学もできました。

また当地区も高齢化が進み、一人住まいの家や認知症と思われる高齢者が見受けられるようになってきたので、助け合い、支えられる地域の力となれるように、一番ヶ瀬第3高齢者地域センター長にお願ひし「認知症との関わりについて」の研修会を実施しました。20数名の支部役員が参加して大変勉強になりました。併せて当地区屈指の介護ケアに携わっている「桜実会」について知るためにまたとない機会と考え、同施設を見学させていただきました。有意義な1日でした。

12/15（日）消防署の協力のもとに防災用スタンドパイプ、AED（救命のため）の取り扱いの実地訓練を行った。参加者20名（男子11名、女子9名）で、スタンドパイプ1基は、会員に保管委託した。

新入学児童・入学お祝い金を贈呈します

平成26年1月末日現在町内会会員で、学齢期（小学校）を迎えられたお子様のいらっしゃるご家庭に、入学お祝い金をお届けします。入学先は公立・私立を問いません。下記の平成26年度新入学児童お祝い金・申込書に必要事項をご記入のうえ、**2月10日（月）**までに班長さんへお届けください。班長さんは2月17日（月）までに支部長さんへ届けてください。なお該当児がいない班も、その旨、支部長さんにご連絡ください。支部長さんは2月18日（火）の支部長会の時にお持ちください。

切り取り線

平成26年度新入学児童お祝い金・申込書

（支部名： ）

会 員 名	新入学児童名	住所（同居の場合は〇〇様方まで記入）	電 話 番 号